



今回のアドバンス通信は、最新の『**がん検査vol.1**』についてお知らせします。  
 がん検査には「一次スクリーニング検査」と「二次検査(精密検査)」があります。  
 今回ご紹介するのは、ニュースや情報番組などで数多く紹介され、現在テレビCM  
 でも話題の一次スクリーニング検査『**N-NOSE**』です。  
 N-NOSEは、がんの匂いを高精度に嗅ぎ分けることのできる**“線虫”**という生物  
 の能力を活用し、「**尿1滴から全身のがんリスクを判定する**」新しいタイプ  
 のがん検査です。ぜひご一読いただきがん検査受診の参考にしてください。

## がんの「一次スクリーニング検査」と「二次検査(精密検査)」

がん検査には「PET検査」や「MRI検査」といった精密検査があります。これらの画像検査は、腫瘍マーカーなどの一次検査を受けた後に二次検査で受診する場合と、健康診断や人間ドックなどの検診を受ける際にオプションとして受ける場合がありますがこれらの検査は、事前に予約をして病院に行く必要があり、検査費用が※10万円程度かかるため、「**受ける時間がない**」や「**経済的に負担**」などの理由から、日本でがん検査を受けられる方は、全体の4割～5割程度とまだまだ低いのが現状です。そこでいま注目されているのが、「尿」、「だ液」、「血液」を少量採取するだけでがん検査が受けられ、「高精度」で「安価」な新しいタイプの「一次スクリーニング検査」です。



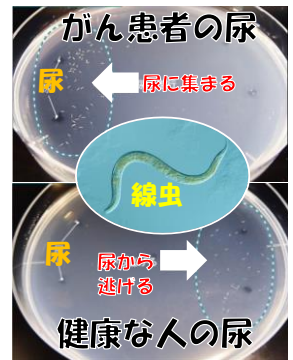
※ PET検査の費用：保険適用外の場合は10万円程度(医療機関によって異なります)、保険適用の場合は健康保険の自己負担額

## 尿1滴でがん検査ができる「N-NOSE」とは

「がん患者には、健康な人にはない特有の匂いがある」ということが様々な研究結果から示唆されています。

そこで犬の約1.5倍の臭覚受容体様遺伝子を持ち、機械では検知できないほど微かな匂いを嗅ぎ分けることのできる**“線虫”**という生物の**“がん患者の尿に集まり、健康な人の尿からは逃げる”**といった性質を活かし、「**がん患者の尿と健常者の尿を見分ける**」というこれまでにない全く新しいタイプのがん検査が「N-NOSE」です。

〈注〉 N-NOSEは、がんの存在の発見には大変有用な検査ですが、がんを診断するための検査ではなくがんの「種類」や「部位」、また「大きさ」などを特定したりするものではありません



## 「N-NOSE」の6つの特長

### 簡便

※1 自宅で簡単に受けられ  
検査に必要なのは尿1滴

### 高精度

線虫ががんを見分ける  
※2 感度は **86.3%**

### 安価

検査費が安く定期的に受けられる  
**12,500円(税込)**

### 早期発見

ステージ0・1の早期がんも検知  
することが臨床研究において確認

### 苦痛がない

尿1滴で検査ができるため  
身体的負担がない

### 全身網羅的

全身のがんを一度で調べられる  
線虫が※3 **15種類**のがんに反応

※1 N-NOSE検査はインターネットから申し込みます。自宅に検査キットが送られますので到着後6ヶ月以内に検体(尿)を取り提出します。尿の提出方法は、「N-NOSEステーションへ持ち込む」か「自宅に取りに来てもらう(集荷地域が限定されます)」を選択します。取りに来てもらう場合は集荷料金2,200円(税込)が必要となります。

※2「感度」とは「**がん患者を正しくがん患者と判定する割合**」をいい、がんのステージごとに「**0-1：85.0%**」「**Ⅱ：84.8%**」「**Ⅲ：89.4%**」「**Ⅳ：91.7%**」「**平均 86.3%**」となっています。(2019年9月HIROTSUバイオサイエンス実績) また、「**健常者を正しく健常者と判断する割合**」である「**特異度**」は「**平均91.0%**」となっています。

※3 線虫が反応することが分かっているがん種は、「胃」「大腸」「肺」「乳」「脾臓」「肝臓」「前立腺」「子宮」「食道」「胆嚢」「胆管」「腎臓」「膀胱」「卵巣」「口腔・咽頭」の15種類です。(2019年9月現在)